

多高通信

第113号 平成26年12月25日発行

吹奏楽部・合唱部 ラジオ出演

松任谷正隆さんと特別セッション♪

12月31日の大みそか、23時〜25時にFMラジオで全国放送される、「年末年始特別ラジオ番組 Because of you 〜あなたがいたから〜」に吹奏楽部と合唱部が出演します。松任谷正隆さんのピアノにあわせてスペシャルセッションをぜひお聞きください！

■吹奏楽部 部長 高橋まりな（2年1組しらかし中出身）
私たち吹奏楽部にとってラジオ収録は初めての経験でした。しかもそれが、全国的に有名な松任谷正隆さんと一緒ということで、本番も緊張で胸がいっぱいでした。収録曲は「春よ、来い」と「やさしさに包まれたなら」の2曲でした。本番が始まり、正隆さんや中井美穂アナウンサー、スタッフの方々と収録を進めることにステージが1つになっていくのがわかりました。初めはみんな緊張でガチガチだったのに、正隆さんの温かい人柄とお話で緊張がほぐれました。

収録終了後、私たちからのサプライズ演奏で正隆さん編曲の、いきものがかりの「YELL」を演奏しました。震災で経験した辛い思いを乗り越え、前を向いて歩き出そうという思いを込めて演奏しました。正隆さんに喜んでいただけ嬉しかったです。今回の収録を終えて、正隆さんの音楽に対する真剣さや厳しさを知ることができ、今回の演奏が全国で放送されるということで、私たちの演奏をたくさんの方々に届けられると思うので、少しでも多くの人に聞いていただけることを願っています。このような素晴らしい機会をいただけたことを本当に感謝しています。12月31日の放送がとっても楽しみです！

■合唱部 部長 木村 百花（2年1組 高砂中出身）
吹奏楽部とは今までにも何度か一緒に演奏する機会がありました。プロの方も交えてもセッションという経験はありませんでしたが、とても楽しく歌

うことができました。今回のようなプロの方とのセッションは滅多にないことなので、私も部員たちもみんな緊張していましたが、松任谷さんのお話のおかげで、最後にはいつも通りリラックスした状態で歌うことができました。今回の経験を活かし、これからも一生懸命、練習を頑張りたいと思います。

■鎌田 茉緒（3年1組 七ヶ浜中出身）
東日本大震災について、松任谷さんや中井美穂さんからラジオ取材を受けました。松任谷さんは物事に対する着眼点が鋭く、中井さんはとても気さくで話しやすい方でした。震災で経験したことや今、考えていることなどについてお話をさせていただきました。私と一緒に取材を受けた2人の話も聞くことができ、最近では震災について思い返す機会がだんだん減っていたので、とてもよい機会となりました。



山岳部 ボルダリング体験

■倉本 大生（2年5組 多賀城第二中出身）

山岳部の活動の一環としてボルダリングを体験しました。ボルダリングとは、岩壁を素手で登るスポーツです。初めは簡単そうに見えましたが、ボルダリングは奥の深いスポーツで、腕の力に頼るのではなく、足なども上手に使わないといけません。また、体に反動をつけて岩を掴むなど、体の柔らかさも必要です。今回の経験を今後の練習にも活かし、来年の高総体で全国を目指していきたいです。



楽しかった修学旅行

■実行委員長 阿部 拓人（2年6組 向洋中出身）

修学旅行を振り返ってみると、あつという間に終わってしまったなあと思います。それはたぶん、本当に楽しかったから時間が短く感じられたのだと思います。気の合う仲間とホテルの部屋で過ごしたり、ユニバーサルスタジオジャパンでみんなと楽しめたことは良い思い出となりました。また、班別自主研修で歩いた京都は、宮城とは言葉や食べ物などさまざまな文化が異なり、とても興味深かったです。その他にも、ここには書き切れないくらいたくさん思い出ができて、最高の修学旅行となりました。

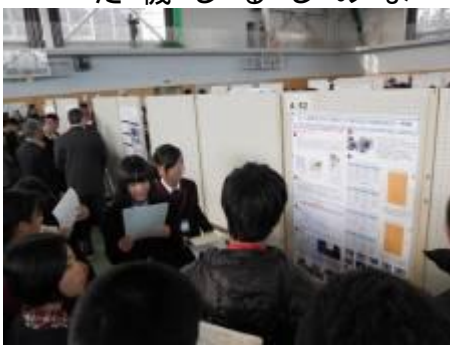


みやぎサイエンスフェスタに参加しました

■千坂 星菜（2年4組 松島中出身）

私たちは、これまでSPB 野外実習で採集した砂の調査結果や学習してきた成果をポスターにまとめ、仙台三高で行われたみやぎサイエンスフェスタで発表してきました。私たちの研究内容に興味を持ってくださった方たちに説明をしたり、他の学校の研究発表も自由に聞いて回ることができたので、とても有意義な時間を過ごすことができました。

これまで参加したさまざまな実習や採取試料の観察、分析などをとおして、科学について考える良いきっかけとなりました。今後このような機会があればぜひ参加したいと思います。



国際協力実体験プログラムに参加しました

11月22日、23日に秋田県で行われた、JICA 東北主催の国際協力実体験プログラムに参加してきました。このプログラムは、東北地方の高校生が合宿形式で参加し、途上国の現状や国際協力に関する理解を深め、自分たちに何ができるのかを積極的に考えるものです。

ルワンダやフィリピンの方からお話を聞き、それを踏まえたうえでアクションプランを考え、発表しました。

■中村あかり（1年6組 東仙台中出身）
私たちが作ったプランをいつか実現できたらいなと思います。今回プログラムに参加したことで発表する力、人と交流する力、行動力、アドリブ力などたくさんを学びました。

■佐藤 楓（1年6組 田子中出身）
他県、他国の人と交流することで、今まで考えたことが無いようなことをみんなで考え共有することができました。たくさんの人と交流した経験を今後活かしていきたいと思っています。

■馬場 美咲（1年6組 七ヶ浜中出身）
ルワンダやフィリピンの方から実際に話を聞くことができ、ますます海外に興味を持つようになりました。今回の経験を1人でも多くの人に伝えることで他国との交流や援助が増えるといいなと思います。

■角田 奈緒（1年6組 東仙台中出身）
今まで全く知らなかったルワンダの歴史や現状、フィリピンの都市と村落の格差などについて知ることができました。多賀城高校の代表として今回のプログラムに参加したので、今回得たことを周りの人たちにも伝え、自分たちが考えたプランを実行させたいと思います。

